

2024年9月10日

各 位

会 社 名	フュージョン株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 佐々木 卓也
	コード番号：3977 札幌アンビシャス
問 合 せ 先	専務取締役 安田 真
	(TEL. 011-271-8055)

「ソーシャルボンド」日本学生支援債券への投資に関するお知らせ

フュージョン株式会社（以下、「当社」という）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（第76回日本学生支援債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせいたします。

当社は、パーパス・ビジョン・コアバリューから成る企業理念に基づく事業活動を通じ、社会の持続可能な発展に貢献することが、私たちに期待されているサステナビリティ（持続可能性への取り組み）と考えております。経営計画内のESG(1)経営方針、国連の持続可能な開発目標（SDGs）(2)への取り組み方針は、このサステナビリティ基本方針に基づいて策定し、当社の経済的価値・社会的価値双方の向上を目指しております。

そのような中、自社での教育・育成のみならず、広く優秀な人材の輩出に資する取り組みは、当社における社会的使命の一つであると考え、今般の投資を決定しました。また、この決定をきっかけとして、今後は奨学金返還支援（代理返還）制度といった踏み込んだ施策の導入も含め、更なる人的資本経営強化の検討を行ってまいります。

学生の修学に関する機会均等に寄与し、次世代の社会を担うであろう豊かな知識を持ち、創造性豊かな人材の育成に貢献できる事を、この取り組みを通じて期待するとともに、当社は本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンドへの投資を実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

本リリースの取り組みは、SDGsにおける2つの目標に貢献しています。

目標 4：質の高い教育をみんなに
目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう



「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に貢献するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG投資の対象となります。

本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、日本格付研究所（JCR）からセカンド・パーティー・オピニオンを取得しており、「ソーシャルボンド」として発行されます。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、SDGsの内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

<本債券の概要>

銘柄	第76回日本学生支援債券
年限	2年
発行額	300億円
発行日	2024年9月9日

- (1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと
- (2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

<<本リリースについてのお問い合わせ先>>

フュージョン株式会社 コーポレート部門

TEL： 011-271-8055 【対応時間】9：00～18：00（土日祝休）

URL： <https://www.fusion.co.jp/contact/>

以 上